

管内概要

平成30年度

青森県下北地域県民局地域整備部



青森県下北地域県民局 地域整備部

管内図



津 軽 海 峡



陸 奥 湾

地域の概要

当部は、むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村の1市4町村の県土整備を担当しています。管内の面積は約1,416km²で青森県の約15%を占め、人口は約71千人と県全体の約6%です。

下北半島は斧のような形をしており、東は太平洋、北と西は津軽海峡、南は陸奥湾とほぼ海に囲まれています。また、ブナやヒバなどの山地が大部分を占め、北限のニホンザルやニホンカモシカなどが生息するほか、恐山や仏ヶ浦などの景勝地、加えて薬研、湯野川、下風呂等多数の温泉を有する等、国内でも有数な豊かな自然環境に恵まれています。

気候は半島の東部と西部で異なり、東部は太平洋側気候に属し、晩春から夏にかけて偏東風(やませ)が吹き冷涼な日が多く、一方、西部は日本海側気候に属し、冬季は北西の季節風の影響で積雪が多く、2月下旬の恐山では2m前後に達するが、沿岸部の積雪は概ね1m以下となっています。

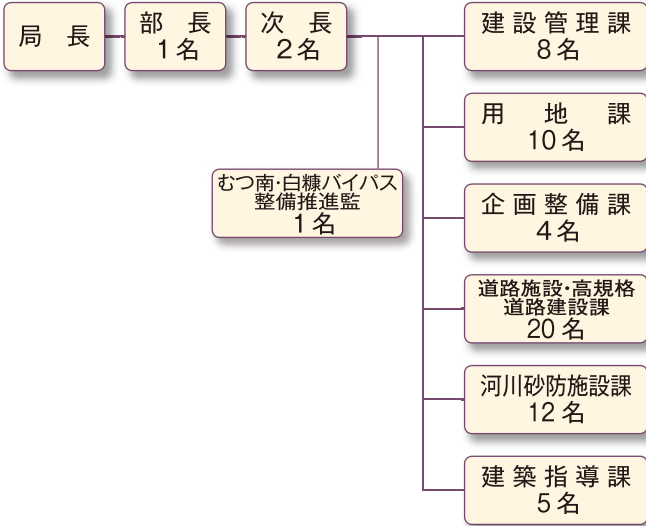
近年、大間まぐろ、佐井のウニ、風間浦のあんこう、東通牛など、下北半島の食が全国から注目を集めており、今後の地域振興が期待されています。

管内市町村概要

市町村名	区分	面積 (km ²)	人口 (人)
むつ市		864.12	56,380
大間町		52.10	4,969
東通村		295.27	6,283
風間浦村		69.55	1,828
佐井村		135.04	1,997
管内計		1,416.08	71,457
県全体		9,645.64	1,273,573

※面積 H29.10.01現在
平成29年全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院)
※人口 H30.03.01現在
青森県の推計人口(県統計分析課)

組織



合計63名(定数外を含む)

平成30年度事業費調べ(当初)

平成30年4月1日現在(千円)

年度	事 業 名		道 路	河 川	ダ ム	砂 防	海 岸	港 湾	建 築	災 害	計
H29	補助事業	最 終	4,319,634	326,000	0	442,189	370,043	279,000	0	101,708	5,838,574
		当 初	3,684,465	202,000	0	226,600	250,000	275,000	0	—	4,638,065
	単独事業	最 終	1,962,619	199,027	63,197	173,428	100,141	29,050	23,126	—	2,550,588
		当 初	2,083,135	195,818	63,197	145,405	99,540	28,457	25,339	—	2,640,891
	計	最 終	6,282,253	525,027	63,197	615,617	470,184	308,050	23,126	101,708	8,389,162
		当初(A)	5,767,600	397,818	63,197	372,005	349,540	303,457	25,339	—	7,278,956
H30	補 助 事 業		3,192,798	338,000	0	340,000	183,000	246,000	0	—	4,299,798
	単 独 事 業		2,451,561	195,613	118,510	124,591	91,956	39,428	26,402	—	3,048,061
	計 (B)		5,644,359	533,613	118,510	464,591	274,956	285,428	26,402	—	7,347,859
対前年度当初比(B／A)			97.9%	134.1%	187.5%	124.9%	78.7%	94.1%	104.2%	—	100.9%

注意 H30予算については、内示ベースです。H29補正予算はH29最終欄に含まれます。

道 路

道路事業では、道路改築事業や交通安全施設等整備事業、災害防除事業等のほか、道路維持・管理及び、除排雪、防雪柵設置、消融雪溝等安全・安心な道路環境の確保を行っています。なお道路管理工事については災害対応や除雪、道路施設の維持管理等について迅速かつ効率的に進めるため、地域に精通した建設業者の共同企業体を活用する「地域維持型JV制度」により行っています。

当管内の幹線道路は、国道279号と国道338号の2路線あり、半島周回道路を形成しています。野辺地からの国道279号と八戸からの国道338号は、むつ市内で交差し279号は風間浦村を経て、338号は脇野沢を経て各々大間町へ通じています。平成7年に国道338号佐井村仏ヶ浦付近が舗装されたことにより、半島内の高速移動が可能となりました。

現在整備中のバイパスは、むつ南（国道279号）、二枚橋（国道279号）、大湊Ⅱ期（国道338号）及び白糠（国道338号）の4バイパスです。このうち、むつ南バイパスは平成15年に着手し、用地の約94%を取得し、今年度も引き続き用地取得と工事の促進を図ります。また、二枚橋バイパスは、約1.5kmが供用済みであり、現在は橋梁上部工（仮称二枚橋2号橋及び仮称二枚橋3号橋）や道路改良工事等を実施しています。

さらに、下北地域広域避難路確保対策事業として薬研佐井線の1.5車線の整備、川内佐井線の通年通行確保事業を継続しているほか、大間町～むつ市大畑町間の避難道路整備の一環である風間浦村道古野・大川目線について、県代行事業により平成28年度に着手しています。



国道279号 むつ南バイパス



国道279号 二枚橋バイパス

道路 平成30年度 主要事業概要

(単位：百万円)

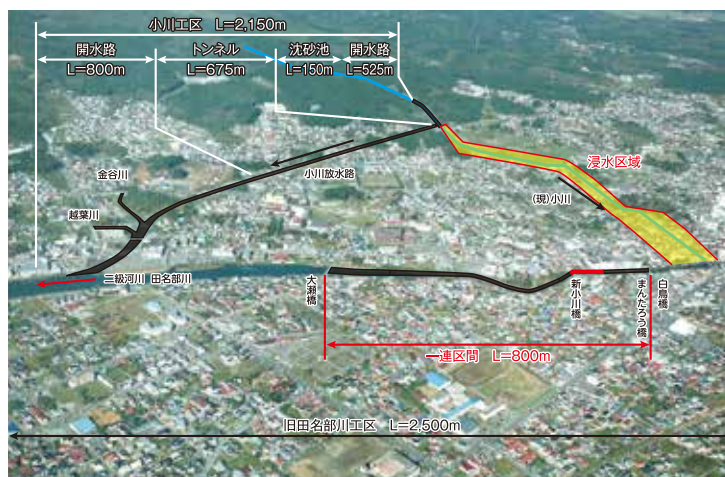
事業種別	事業名	施工箇所	全体計画	H29まで	H30予定	摘要
道路改築	国道279号 道路改築事業 (むつ南BP)	むつ市 田名部	H15～ 事業費 19,000 延長 9,010m 幅員 7.0(13.5)m	事業費 11,830 調査・設計・用地・工事	事業費 700 用地買収・調査設計 道路改良・舗装工	
	国道279号 道路改築事業 (二枚橋工区)	むつ市 大畑町 二枚橋	H8～ 事業費 6,150 延長 4,100m 幅員 6.5(12.0)m	事業費 5,351 調査・設計・用地・工事	事業費 534 橋梁工・道路改良・舗装工	
	国道338号 道路改築事業 (大湊Ⅱ期)	むつ市 大湊	H20～ 事業費 2,497 延長 3,670m 幅員 6.5(16.0)m	事業費 1,210 調査・設計・用地・工事	事業費 331 用地買収・調査・道路改良	
	国道338号 道路改築事業 (白糠)	東通村 白糠	S62～ 事業費 8,500 延長 6,680m 幅員 6.0(11.5)m	事業費 6,892 調査・設計・用地・工事	事業費 128 用地買収・調査・道路改良	
道路災害防除	国道279号 道路災害防除 (易国間地区)	風間浦村 易国間	S23～ 事業費 732 延長 1,100m	事業費 553 調査・設計・工事	事業費 75 法面工	3期工事
橋梁補修	管内橋梁	—	—	事業費 666 16橋 調査・設計・工事	事業費 723 18橋 調査・設計・工事	
広域避難路確保	薬研佐井線	むつ市大畑町 赤滝山国有林 ～佐井村古佐 井山国有林	H23～ 事業費 4,377 延長 20.4km	事業費 1,751 調査・設計・用地・工事	事業費 690 調査・用地・工事	
	川内佐井線	むつ市川内町 田野沢山国有林 ～佐井村湯ノ川越山国有林	H24～ 事業費 5,260 延長 12.6km	事業費 1,945 調査・設計・工事	事業費 615 擁壁工、雪崩対策工	
	風間浦村道 古野・大川目線 (県代行)	風間浦村 易国間	H28～ 事業費 700 延長 0.9km	事業費 188 調査、工事	事業費 240 調査、道路改良	

河 川

主要な水系として田名部川、川内川、大畑川、大佐井川があり、本支川合わせて48河川、延長193Kmを管理しています。

新田名部川は、昭和31年着工、同52年に完成、また、小川放水路は昭和55年着工、平成18年に完成しました。この両事業の完成により当管内では大きな水害は無くなりました。

現在は、大畑川、奥戸川、田名部川で総合流域防災事業により、護岸の整備を進めています。



田名部川広域河川改修事業 (H29概成)

河 川 平成30年度 主要事業概要

(単位：百万円)

事業名	河川名	全体計画	平成29年度迄実施済み	平成30年度予定
施設機能向上事業	田名部川 (むつ市)	H27～ 事業費 468 分流水門 1基 潮止堰 1基	事業費 68 調査 1式 設計 1式	事業費 90 水門塗装等 1式 設計 1式
総合流域防災事業	大畑川 (むつ市大畑)	H24～H30 事業費 577 延長 215m	事業費 536.8 護岸 205.4m 調査 1式 設計 1式	事業費 40 護岸 9.4m 調査 1式
	奥戸川 (大間町)	H27～ 事業費 900 延長 1,600m	事業費 68.8 調査 1式 設計 1式	事業費 60 用地 1式
	田名部川 かわまちづくり (むつ市)	H29～ 事業費 400 延長 500m	事業費 22 調査 1式 設計 1式	事業費 68 護岸 200m

川 内 ダ ム

川内ダムは2級河川川内川の約20km上流に建設された高さ55.0m、堤頂長137m、総貯水量16,500,000m³の重力式コンクリートダムです。洪水調節と河川環境保全等のための河川流量の確保を目的とし、昭和46年から予備調査に入り、その後、昭和50年に工事着手し平成6年に完成しました。



海岸

海岸事業については、城ヶ沢海岸をはじめ45地区を海岸保全区域に指定（延長約59Km）し離岸堤及び人工リーフの設置を主体に事業を実施しています。

現在、昭和60年度から実施している烏沢海岸侵食対策事業により人工リーフの設置や、平成29年度に着手した稲崎・入口海岸堤防等老朽化対策緊急事業による護岸改修の実施など、冬期風浪などによる海岸災害を未然に防止するための事業を実施しています。



烏沢海岸侵食対策事業

(単位: 百万円)

海岸 平成30年度 主要事業概要

事業名	海岸名	全体計画	平成29年度迄実施済み	平成30年度予定
侵食対策事業	烏沢海岸 (むつ市)	S60～ 事業費 9,576 人工リーフ 延長 2,330m	事業費 5,410 人工リーフ 延長 1,660m(暫定断面) 延長 670m(全断面)	事業費 160 人工リーフ 延長 102m(全断面)
堤防等老朽化対策 緊急事業	稲崎・入口海岸 (東通村)	H29～ 事業費 800 緩傾斜護岸工 延長 297m	事業費 8 調査 1式 設計 1式	事業費 20 緩傾斜護岸 10m

砂防

砂防事業については、砂防指定地167箇所（A=801ha）において、土砂災害から地域住民の生命・財産を守るため、砂防えん堤や溪流保全工等による砂防施設の整備に努めています。

大荒川火山砂防事業及び蛇浦川通常砂防事業については、砂防えん堤工事を継続実施していくほか、中白糠沢通常砂防事業及び地蔵堂沢通常砂防事業も実施することとしています。



九艘泊川通常砂防事業(H29概成)

(単位: 百万円)

砂防 平成30年度 主要事業概要

事業名	河川名	全体計画	平成29年度迄実施済み	平成30年度予定
火山砂防事業	大荒川 (むつ市)	H27～ 事業費 1,050 土石流堆積工 1基・砂防えん堤 1基	事業費 107 調査 1式 砂防えん堤 1式	事業費 50 調査 1式 砂防えん堤 1式
	北畑沢 (むつ市川内町)	H29～ 事業費 400 砂防えん堤 2基・溪流保全工 459m	事業費 32 調査 1式	事業費 20 調査 1式 用地 1式
通常砂防事業	蛇浦川 (風間浦村)	H24～ 事業費 380 砂防えん堤 4基・溪流保全工 44m	事業費 114.5 調査 1式 砂防えん堤 1式	事業費 40 砂防えん堤 1式 調査 1式
	中白糠沢 (東通村)	H26～ 事業費 200 砂防えん堤 1基・溪流保全工 170m	事業費 42.3 調査 1式 用地 1式	事業費 50 砂防えん堤 1式 用地 1式
	地蔵堂沢 (むつ市脇野沢)	H27～ 事業費 726 砂防えん堤 2基・溪流保全工 105m	事業費 51.6 調査 1式	事業費 20 管理用道路 1式 用地 1式
	脇野沢 (むつ市脇野沢)	H28～ 事業費 400 砂防えん堤 1基・溪流保全工 20m	事業費 31.3 調査 1式	事業費 10 用地 1式

急 傾 斜

急傾斜事業については、急傾斜地崩壊対策危険箇所は168箇所となっており、がけ崩れによる災害の防止を図るため、急傾斜地崩壊危険区域として68区域で約86ha(H29年3月31日現在)を指定し、適正な管理に努めています。

当地域整備部管内の急傾斜地崩壊対策事業としては、昭和43年に東通村の白糠区域に着手して以来、現在も積極的に整備促進を図りながら、市町村との連携のもと土砂災害危険箇所マップを作成配布し、地域住民への周知徹底を図っているところです。

今年度は、甲平ノ下区域、九艘泊区域・釣屋浜1号区域を実施します。



九艘泊区域急傾斜地崩壊対策事業(むつ市脇野沢九艘泊)
現場打吹付法砕工

急傾斜 平成30年度 主要事業概要

(単位:百万円)

事業種別	事業名	施工箇所	全体計画	H29まで	H30予定	摘要
急傾斜地崩壊対策	甲平ノ下区域	下北郡 風間浦村 下風呂	H29～H38 事業費 400 延長 305m	事業費 130 測量、設計 1式 吹付法砕工 40m	事業費 100 吹付法砕工 50m	
	釣屋浜1号区域	むつ市 大畑町 釣屋浜	H26～H34 事業費 196 延長 143m	事業費 55 延長 22.8m 植生法砕工外	事業費 15 延長 6m 植生法砕工外	
	九艘泊区域	むつ市 脇野沢 九艘泊	H24～H33 事業費 200 延長 140m	事業費 93 延長 44m 吹付法砕工	事業費 15 延長 18m 吹付法砕工	

港 湾

下北管内では、大湊港、大間港、川内港、尻屋岬港、仏ヶ浦港の5地方港湾と、海洋地球観測船『みらい』の母港である関根浜港(56条港湾)の計6港湾があります。

工業、流通、観光開発といった地域経済や地場産業の振興、さらには地域の防災拠点として重要な役割を担っています。

今年度の主な整備事業としては、大間港湾地方創生推進事業において防波堤の工事を継続します。また、大湊港港湾改修(統合補助)事業において岸壁の改修工事を進めます。



大間港湾地方創生推進事業箇所(防波堤工事)

港湾 平成30年度 主要事業概要

(単位:百万円)

事業名	施工箇所	事業期間	全体計画	H29まで	H30予定	摘要
大湊港 港湾改修(統合補助)事業	むつ市 港町	H29～	事業費 201 延長 105.0m	事業費 12 岸壁調査 1式	事業費 51 岸壁設計、本体工 1式	
大間港 港湾地方創生推進事業	大間町 大間	H26～	事業費 818 延長 200.0m	事業費 648 防波堤 175.5m	事業費 170 防波堤 24.5m	H30完工予定
仏ヶ浦港 改修事業	佐井村 長後	H6～	事業費 1,349 延長 100.0m	事業費 959 防波堤 62.5m	事業費 25 防波堤(本体工) 1式	

建 築

【建 築 指 導】

建築基準法に基づく審査や完了検査等の業務のほか、長期優良住宅の認定や建設リサイクル法に関する業務を行っています。

【県 営 住 宅】

低所得者向けの県営住宅（4団地 221戸）及び、中堅所得者向けの特定公共賃貸住宅（1団地4戸）の改修や管理を行っています。

県営住宅管理戸数等

団 地 名	種 別	構 造 ・ 階 数	建 築 年 度	棟 数	戸 数	住 戸 タ イ プ
中 央 団 地	公 営 住 宅	中層耐火・3	H10～H11	2	32	2DK、3DK、3LDK
	特定公共賃貸住宅	中層耐火・3	H11	(1)	4	3LDK
昭 和 団 地	公 営 住 宅	中層耐火・3	H1～H5	7	81	2DK、2LDK、3DK
山 田 団 地	公 営 住 宅	木造・平、2	H12～H13	4	30	2LDK、3LDK
金 谷 団 地	公 営 住 宅	簡易耐火・2	S49～S54	12	78	2DK、3DK
下北地域県民局管内 計				25	225	—

用 地

(1) 用 地

公共事業の実施には、用地買収や建物等の移転、補償が必要です。

当管内は、土地所有者が所在不明であったり、相続人が数百名を超えるような土地が多く、用地を確保するのが極めて困難な地域です。

このため、土地収用法を適用する事例が多いほか、平成26年度からは管内全市町村と用地連絡協議会を設置し、用地交渉に同席する等共同で推進する体制を整備しています。

事 業 別	箇所数	用 地 買 収 費			補 償 費		合 計 (円)
		筆 数	面 積 (㎡)	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)	
道 路 事 業	22	61	22,575.83	37,031,705	34	120,920,552	157,952,257
河 川 事 業	2	11	65.17	2,246,130	5	1,458,739	3,704,869
砂 防 事 業	5	43	14,176.77	8,266,086	48	10,435,487	18,701,573
急傾斜地崩壊対策事業	2	0	0.00	0	3	2,014,382	2,014,382
合 計	31	115	36,817.77	47,543,921	90	134,829,160	182,373,081

土地収用法適用状況

	用買着手年度	用買率(面積比)	土 地 収 用 法 関 係	主 な 困 難 状 況
むつ南バイパス	H18	94.2%	H26.8.7 事業認定告示 I工区 H28取得完了 II工区 H30裁決申請	II工区 7件 関係人 630人
大湊Ⅱ期バイパス	H21	67.6%	行方不明者や共有地の存在により 将来適用が見込まれる	II工区 共有地 1件 関係人 80人 行方不明 1件
白糠バイパスⅡ工区	H21	46.9%	共有地があるため将来適用が見込まれる	共有地 7件 関係人 1,150人

(2) 財 産 管 理

道路や河川等の国土交通省所管の国有財産等に関して、次のような事務を行っています。

- ① 境界確定、用途廃止、工事施工承認、土地交換、地区編入承認等による管理及び処分
- ② 道路法、河川法、港湾法、海岸法、国有財産法等の規定による占用等の許可
- ③ 港湾施設の使用、特殊車両の通行、砂防指定地内における制限行為の許可
- ④ 砂利採取法、砕石法の規定による採取計画の認可